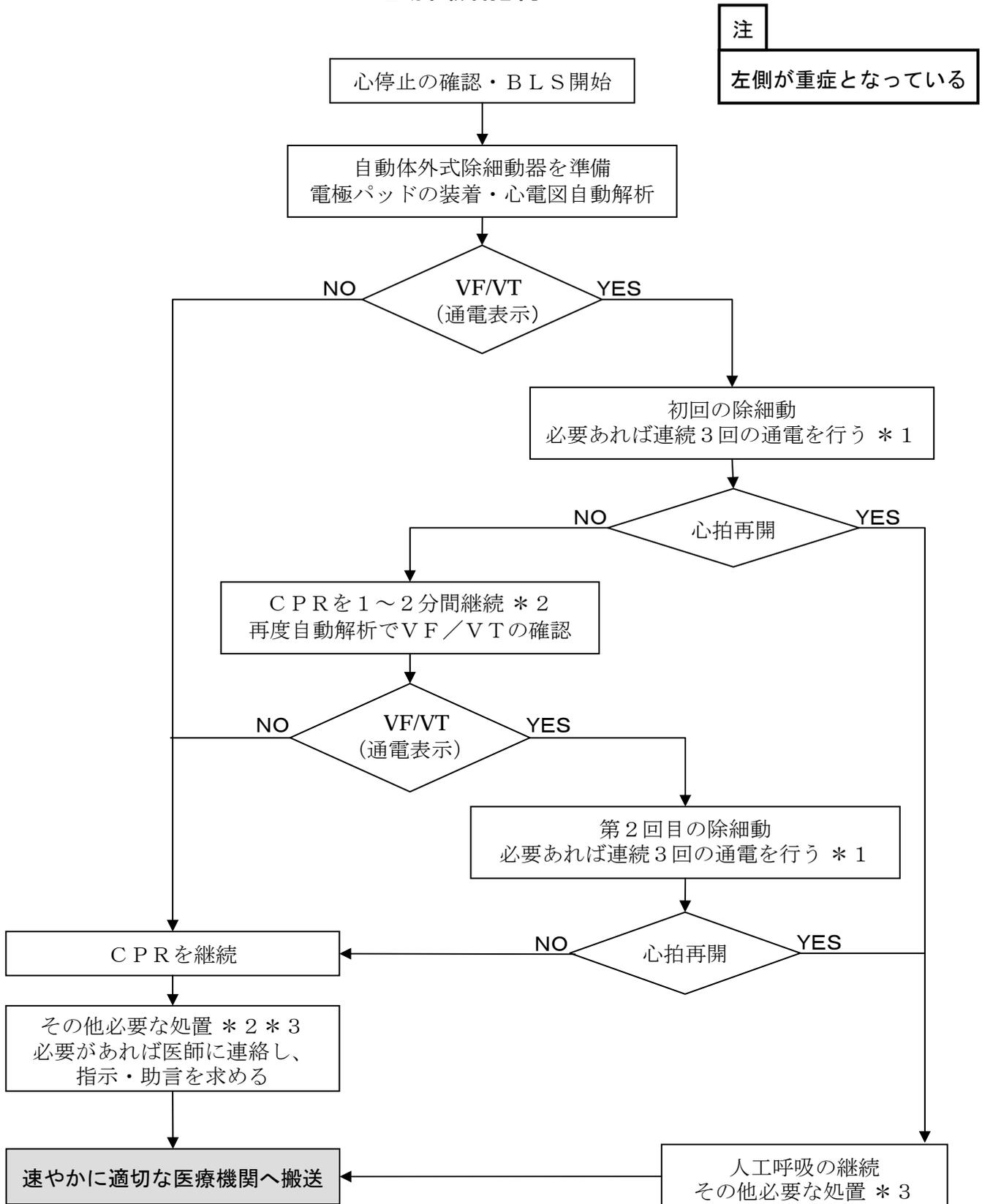


## 2 心肺機能停止

注

左側が重症となっている

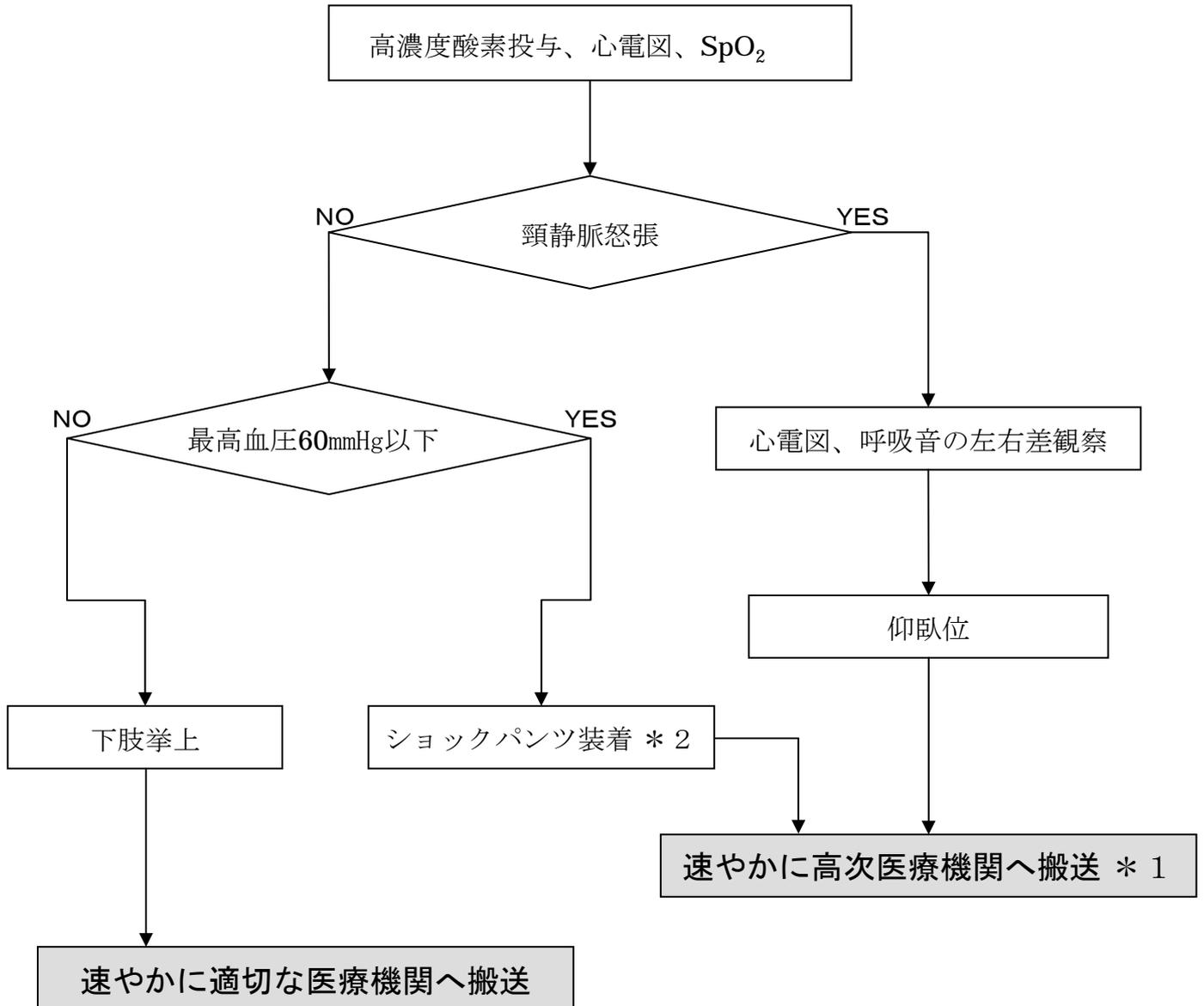


- \* 1 使用する機種により設定（推奨）される通電量。
- \* 2 器具による気道確保も考慮。
- \* 3 静脈路確保は、時間を要さず速やかに行える場合のみ実施。

### 3 ショック

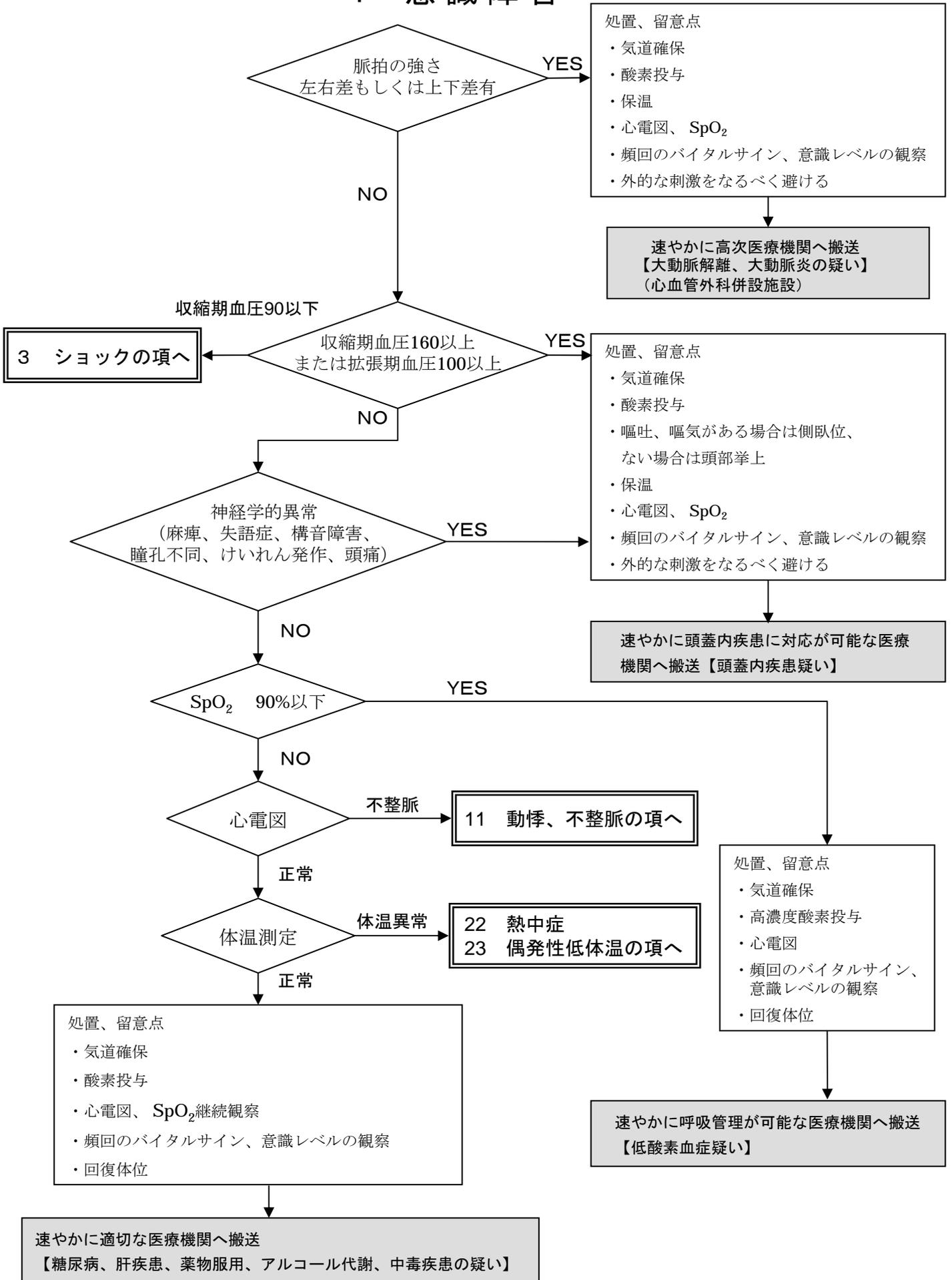
注

最高血圧90mmHg以下で蒼白、虚脱、冷汗、脈拍触知不能、呼吸困難などを伴う場合のプロトコール

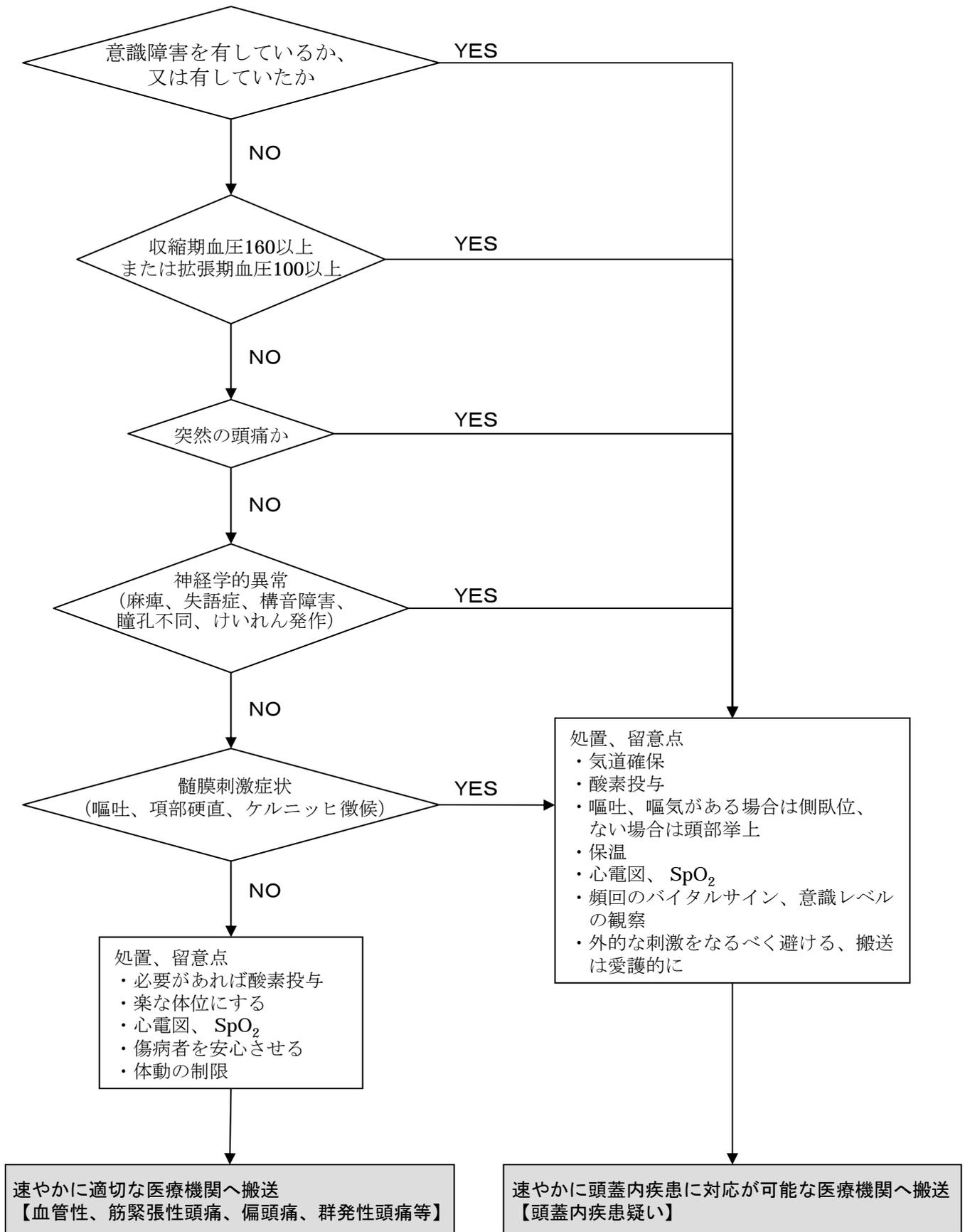


- \* 1 心原性ショック、閉塞性ショックを疑い、救命センターまたは循環器専門医のいる医療機関へ。
- \* 2 ショックパンツ装着に要する時間内に病院到着可能であれば装着せず、下肢挙上にて搬送する。

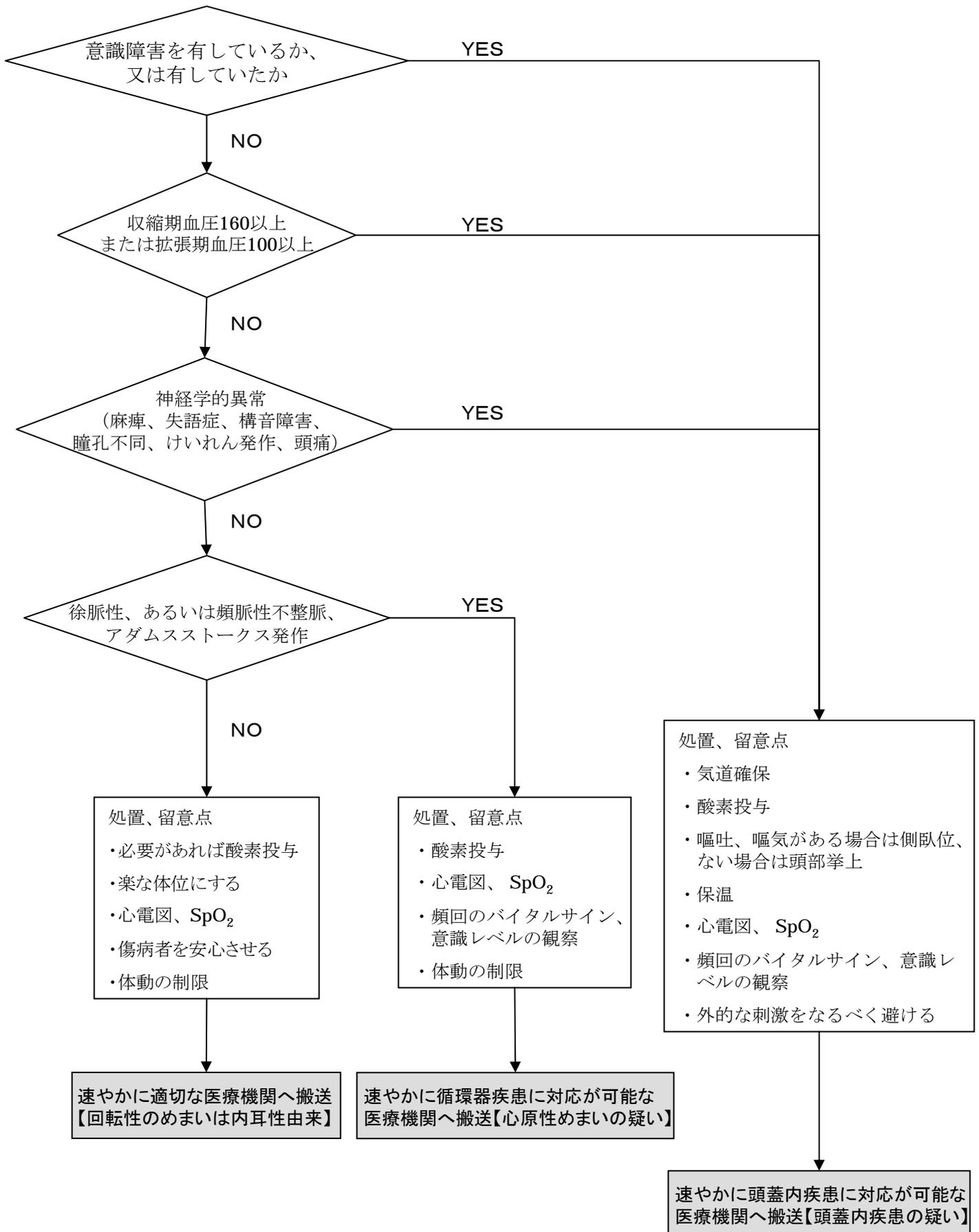
# 4 意識障害



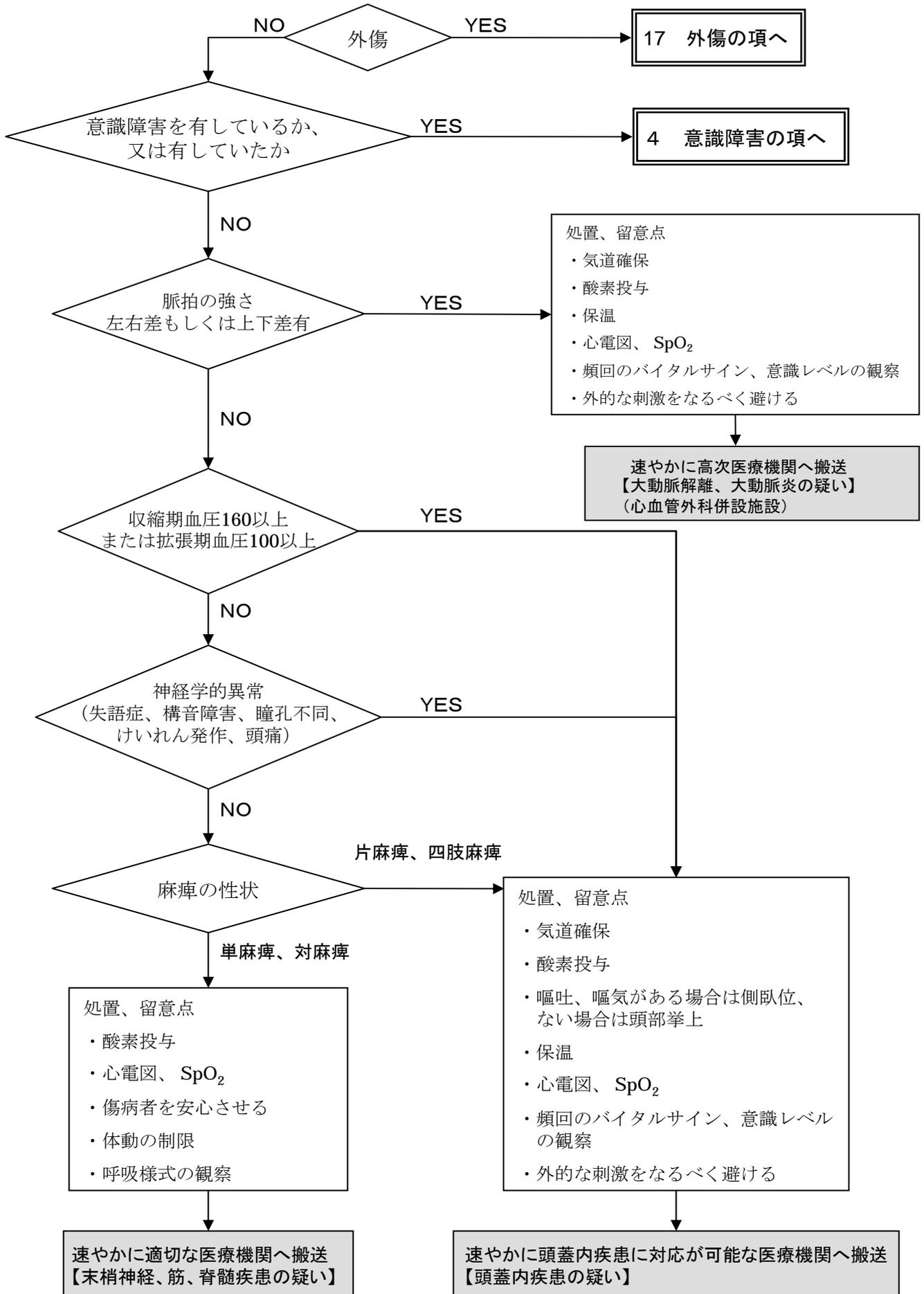
# 5 頭 痛



# 6 めまい



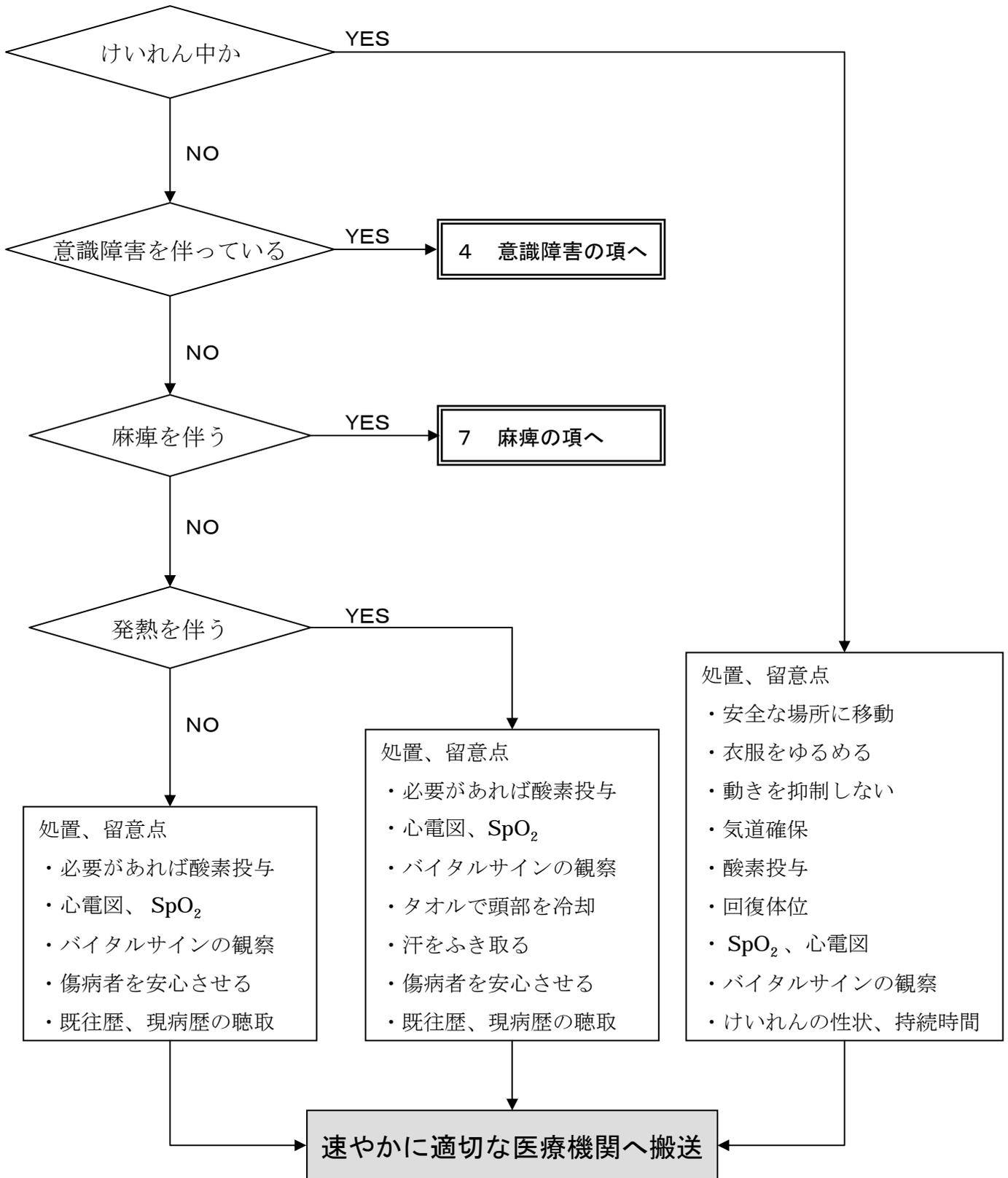
# 7 麻 痺



# 8 けいれん

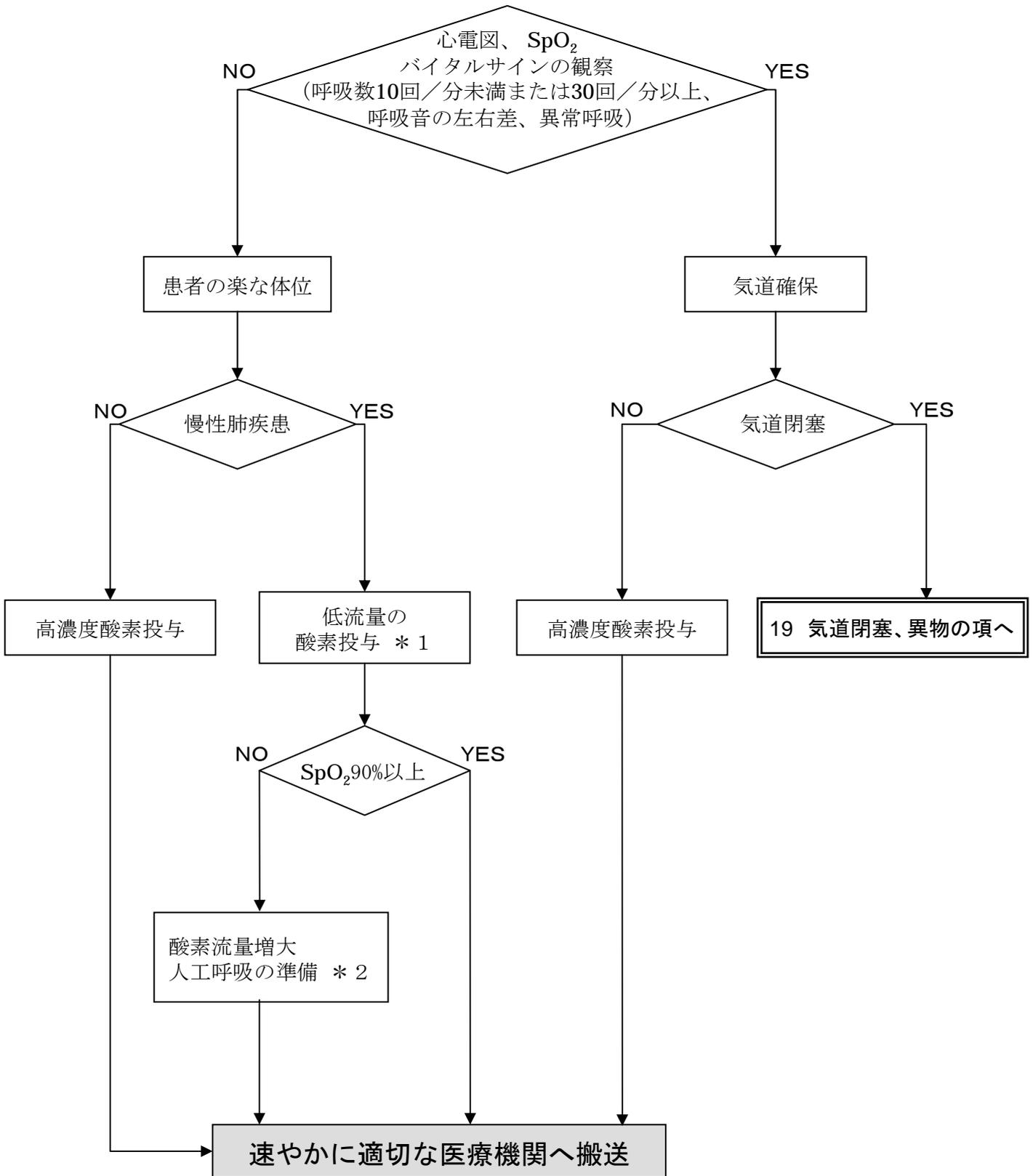
注

なお、子癇が疑われるときは、25-3 異常分娩・産科合併症の項へ



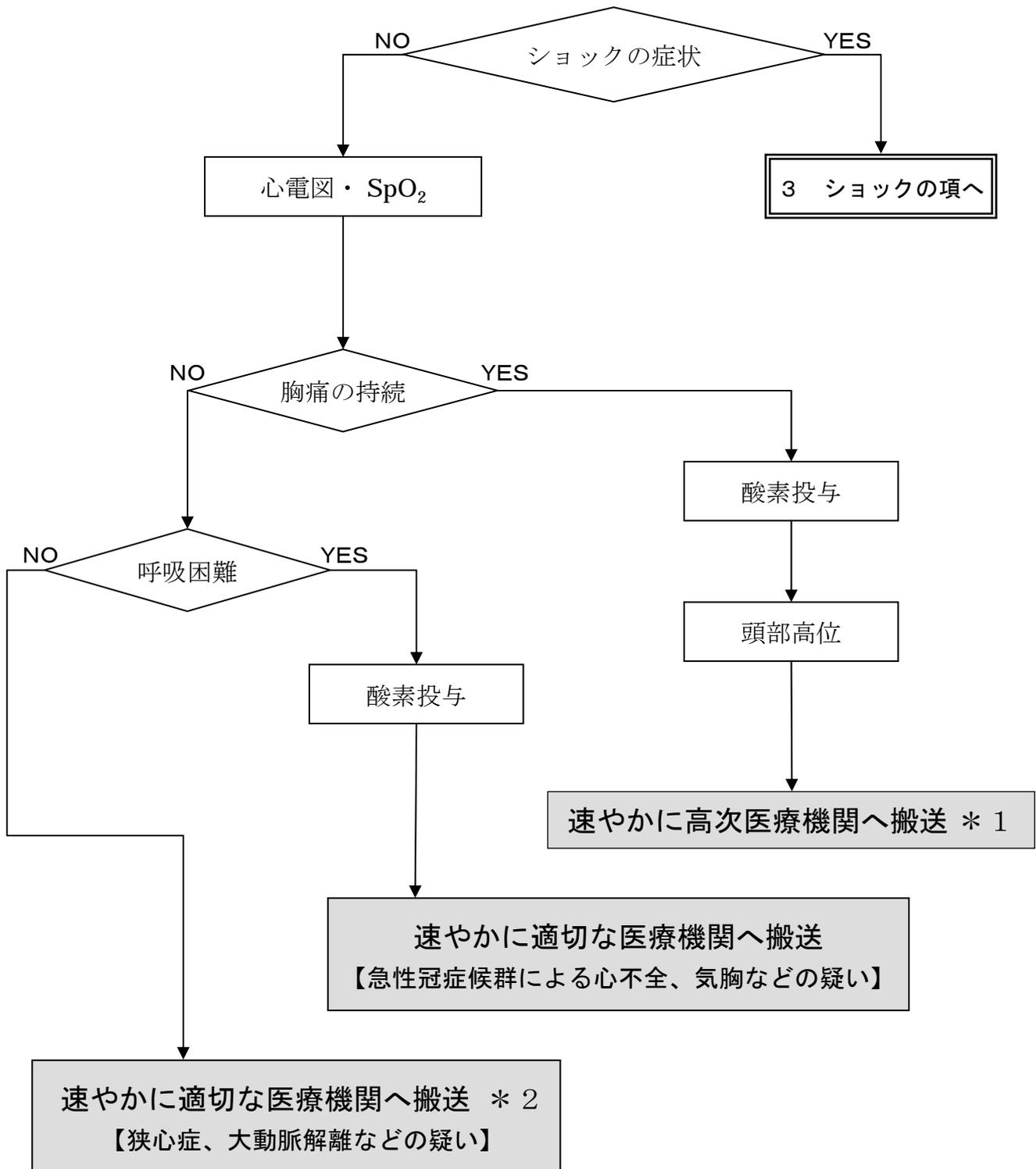
# 9 呼吸困難

－ 喘息発作を含む －



- \* 1 1～2 l/分で開始、人工呼吸の準備。
- \* 2 スクイジングなど呼吸介助を行う場合もある。

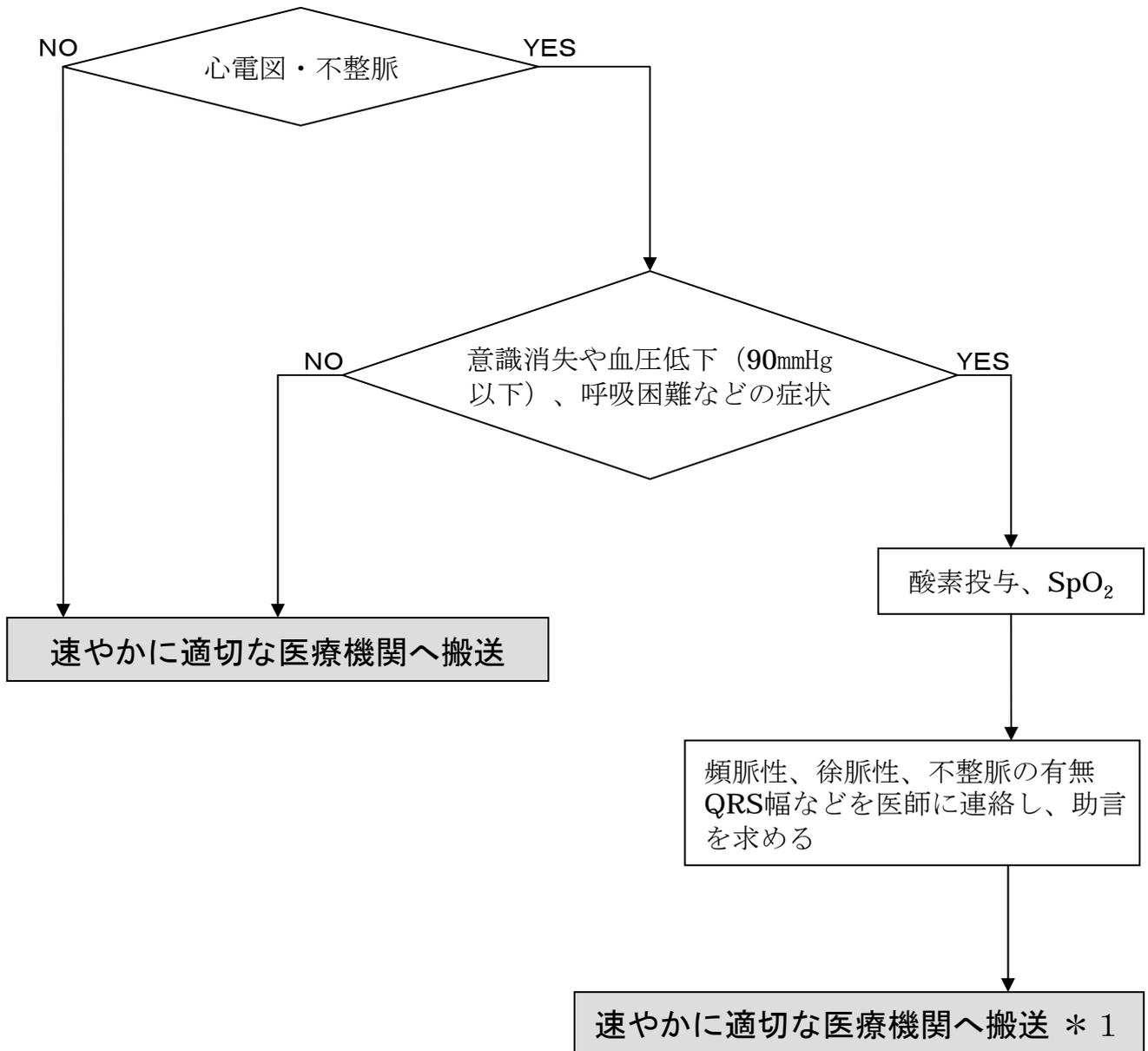
# 10 胸 痛



\* 1 急性心筋梗塞などによる心原性ショック、大動脈解離、肺血栓塞栓症などを疑い救命救急センターまたは循環器専門医のいる医療機関へ。

\* 2 狭心症、大動脈解離などの鑑別可能な医療機関へ搬送。

# 11 動悸、不整脈



\* 1 循環器専門医のいる医療機関が望ましい。